

09年4月21日に実施された「全国一斉学力調査」実施後の

アンケート調査による問題点の集約

調査時期: 2009年4月～5月末まで

集約数: 県内 257 校(小学校 172 校、中学校 85 校、

*特別支援学校は、サンプル数が少ないために集計に入れていない。

小学校	172
中学校	85
計	257

09年6月10日

※文中の番号は、整理番号です

集約結果

1 実施前の問題点

- (1) 実施前に学年末、春休み、新学期開始の時期に児童・生徒に対し「全国一斉学力調査」対策と思われるようなプリントや過去問題のコピーなどを用いた指導はありませんでしたか。

	項 目	小	中	計	%
ア	あった	26	1	27	10.5
イ	なかった	107	77	184	71.6
ウ	把握していない	37	7	44	17.1
	無回答	2	0	2	0.8
	合計	172	85	257	

○ あったと答えた場合は、その内容を書いてください。・・・(小学校)

- ・前日に過去問をさせた。(19)
- ・学年末に過去問をかなり印刷してさせていた。(40)
- ・6年担任が過去問題をコピーしていたようだ。(42)
- ・どれぐらいの量の問題がでるか、各教科過去問をした。(44)
- ・教頭からの指示、町教委から言われたと……。過去問を新学期に入ってからさせた。(58)

熊毛地区

- ・把握していないが、やったのではないと思うぐらい高得点であった。(60)
- ・過去問のコピーではないが、春休みにも課題帳のようなプリント集をさせていた。(特に4・5年生つまり新5・6年生)(65)
- ・前学年までの復習プリント(67)
- ・対策というものではないが、5年生の復習として、漢字や計算プリントを出した。(81)

- ・昨年度、同じ担任で過去問のコピーを用いた指導があったので直接聞いてみたが、今年はやっていないような返事だった。(84)
 - ・国語と算数について 10 ページほどの春休みの宿題を 5 年担任が出していた。(97)
 - ・国語 A 算数 A 対応のプリント、国語 B 対応と思われるプリント (99)
 - ・学年末、春休みにはなかった。(106)
 - ・前担任、現担任ともに、復習プリントを印刷しているのをよく見かけた、(121)
 - ・5 年生の漢字プリントと算数プリント (122)
 - ・宿題として復習プリントをさせた。(131)
 - ・前担任から過去問のコピーをもらったがさせなかった (132)
 - ・昨年の問題 (国語 A B、算数 A B) のコピーを持ち帰り宅習 (134)
 - ・宿題で学力調査と似たような問題を出していた。(139)
 - ・管理職からプリントを配られたが、特に時間をとってはいない。子どもに過去問を渡し紹介した程度。(144)
 - ・問題を見て、どのような問題の傾向があるか確認させた。(146)
 - ・過去問のコピーを解いた。(148)
 - ・前日に昨年度の問題を宿題として出す、(その問題に対する指導はしていない) (150)
 - ・プリント 2 枚 (162)
 - ・子どもが見慣れない形式で迷わないように類型問題を経験させた (163)
 - ・学校の棚に似た問題があったので、5～6 枚させた (宿題で) (164)
 - ・5 年生の担任ががんばっていた。(167)
- あったと答えた場合は、その内容を書いてください。・・・(中学校)

- ・過去問のプリントが大量にあったので、対策をしたと思われる。(3)
- ・国語については、一切事前指導はしなかった。数学もたぶんやっていないと思う。(30)
- ・きちんと把握はしていないが、過去問を探してはいた。(71)

(2) 管理職から、「全国一斉学力調査」のために事前学習を強化するような発言や指示はありませんでしたか。

	項 目	小	中	計	%
ア	再三にわたってあった	0	0	0	0.0
イ	数回あった	17	7	24	9.3
ウ	全くなかった	108	65	173	67.3
エ	把握していない	41	12	53	20.6
	無回答	6	1	7	
	合計	172	85	257	

○ その発言内容は？ ・・・(小学校)

- ・「昨年の問題があるから、やってみるといいですよ。」と 1 回いわれた。(3)

- ・教頭から前年度の問題をさせておくように言われた。(21)
- ・校長から同じ傾向の問題に慣れさせておいた方がよいと1・2回言われた。(55)
- ・1回職員会議の中で、学力テストのみをという感じではなく復習してという発言、しかし、暗に、その時間に合わせて強化するような感じを受けた。(60)
- ・校長から子どもたちにしっかり力を付けさせておいてくださいと漠然とした話があった。(65)
- ・一度だけ教頭先生から「前年度の類似問題をさせておいたほうが良いね」と言われました。(72)
- ・5年生の復習をしておくよう声かけをした。(81)
- ・冬休み中の課題(83)
- ・質問した時に、校長も教育長（事前に類似問題をさせることは問題ないという発言）と同じ考えだとは言ったが、積極的に指導することはしていない。(92) 始良町
- ・年末の校長の文章の中で、「5年生は学力テストに向けて学力をつけさせるように」というような内容のことが書かれていたので強く抗議した。(97)
- ・教頭先生より市の学力向上対策委で作成した問題があるのでさせてくださいとのことでした。(99) 大口市
- ・「問題練習をして問題に慣れさせろ」とか校長が言っていた。(107)
- ・校長・教頭から類似問題をさせた方がいいのでは・・・ゆとりがなくなかった。(119)
- ・校長の指示があったのではないかと担任の言。教頭から1回、前年度の問題をコピーしてさせるように指示があった。(134) 南薩支部
- ・教頭から前年度の問題を渡された。(144)
- ・話の中で、「過去問をやらせたらむとの教頭発言があった。その場で否定的な意見は述べたが、あとはわからない。(155)

○ その発言内容は？・・・(小学校)

- ・昨年度から教頭が過去問等の収集に走り回っていた。教員が全部未組織なので確認はとれないが、指示をしていると思われる。また「鹿児島ベーシック」なる練習問題の冊子も管理職がつくりあげた。(3) 北薩支部
- ・教頭から学力テストが全職員に配られ、研究してくださいと言われた。(7)
- ・「練習をさせてね」「力をつけさせてね」と教頭より自己申告時に。(13)
- ・個人的に言われている職員もいたようだ。(38)
- ・落ち着いてテストができる状況をつくるように(47)
- ・職員朝会で（全体の前で）強化するような発言はなかったが、国語・数学の担当に直接指示したかどうかは把握していない。(56)
- ・私にはないものの、5年生担任にいろいろ指示をされていた。(167)
- ・毎年1回CRTを行い分析している中で、全国に比してやや劣る傾向があるため、「学力向上」を言うので圧力として感じる面はあると思う、(170)

(3) 保護者に対して、管理職や担任から過剰反応と思われるような言動はありませんでしたか。

	項 目	小	中	計	%
ア	あった	0	1	1	0.4
イ	なかった	137	75	212	82.5
ウ	把握していない	34	9	43	16.7
	無回答	1	0	1	0.4
	合計	172	85	257	

○ どのような言動ですか ……(小学校)

・「うちの学校は学力が低い」とPTA総会で発言。会場がざわつく。標準学力調査の結果も。

(6)

・CRTでの実態を伝える中でいい面も伝えるようにしている。学校便りの中にもそのような劣る点、いい点として載せてあった。(170)

・「テストがありますむというお知らせはした。(44)

・曾於市便りの中で全国や地域・県との比較がのせてあり問題がある。(102)

○ どのような言動ですか ……(中学校)

・PTA 総会のあいさつで、本校は県平均にくらべて低い、学習時間が少ないと言った（1 回だが）(41)

2 実施上の問題点

(1) 実施前、あるいは、テスト中に不正と思われる行為を把握していますか。(実施学年の児童・生徒の指摘、同僚からの指摘など)

	項 目	小	中	計	%
ア	把握している	0	0	0	0.0
イ	把握していない	169	85	254	98.8
ウ	無回答	3	0	3	1.2
	合計	172	85	257	

○ どのような内容ですか？

・小・中学校ともに記述なし

3 調査内容について

(1) 教科（国語A・B、算数・数学A・B）の出題内容について、問題と思われる内容があったら指摘してください。(校内で話題になったことなど、子どもたちの反応など)

(小学校)

- ・国語で資料の読み取りがあり、ページもまたがっていて、子どもたちにとっては、取り組みにくそうだった。(1)
- ・算数Bは、国語的な要素が多く、算数の力をBで判断するのは？ (3)
- ・記述式は苦手な子どもが多かったが、問題があるということではない。(7)
- ・問題を見ていない (14)
- ・子どもたちが問題の意味を理解するのに時間がかかった。(29)
- ・問題Bはかなり難しかった。質問紙には「ここに○をすればいい結果になると思うところに○をしてしまうと言っていた。(30)
- ・6年担任は、年々内容が難しくなっているのではないかと話していた。そして、普段の学習内容と学テの内容があまりにかけ離れすぎていて（特にB問題）できなくて当たり前だと思ふとのことだった。(35)
- ・とにかくミスプリント、問題文の訂正が多すぎた。テスト前に問題文ごと全児童分を張り替える教科もあったる (44) ???????
- ・問題を事前にゆっくり見る時間がなく、正直なところ出題内容を把握していない。(担任の話) (46)
- ・続けてやらなければならないので、子どもによっては、頭がパニックに・・・。(47)
- ・内容をよく検討していないので分からない。(48)
- ・バス運行表の見方などは、通常バスを利用しない子どもには不利だと思う。(52)
- ・B問題が難しいと感じる（教科書の内容ではないのではないかと答えに困るような！）アンケートが細かい (66)
- ・1日に膨大な量を子どもたちはこなしている。二日に分けて実施するか、内容を精選するかの方がいいと感じた。(67)
- ・国語Bは、やはり難しく作文（小論文？）が3問出題されていました。時間も足りず全く解けない子も数名いました。(72)
- ・算数Bでは、理科の内容が問題として出題されていた。(95)
- ・子どもが伸びを実感できない問題であること。「調査」なので実感する必要はないのかも知れないが、学習意欲が失われる。意味がわからない問題が多いので、子どもが調査中も不安になるが、このできない結果が、どう自分に返ってくるのか不安になる。(99)
- ・午前中全てを使つての実施、小学校ではCRT（年1回）でこのような多量の問題をするのみで、ほとんど経験がない。結果は正しく出るのか疑問。
子どもたちはぐったりし、午後からの授業にも支障がある。(102)
- ・国語Bの問題は、1問目から難しく、やる気をなくしてしまった子どもたちが目に付いた。(104)
- ・国語Aが難しい記述問題もあり20分では厳しい。(112)
- ・時間が足りなかった。(120)
- ・1つの設問に対して文章が多く、読みつかれを子どもたちがしていた。ある子どもは読むことが嫌いになったと日記に書いてあった。10人程度（30人中）の子どもは、日記に非常に疲れたと書いていることから分かるように、4時間も続けて調査することが問題である。(122)

- ・授業に扱われない形式で、より高度な思考を必要とされるものがあつた。(123)
- ・国語Bに抵抗を感じる子が多くいた。(124)
- ・一日かけての調査に子どもにとって負担である。(126)
- ・国語の B 問題で、「これ理科？」という声が、子どもから出た。目的やねらいが不明瞭。昨年との難易度の差が大きい。(127)
- ・国語A「ローマ字に関する問題」4年生の、しかもたった3時間程度の学習内容なのに、出題されている。(128)
- ・国語Bの問題文が長すぎて時間が足りない子がいた。(131)
- ・難しすぎて集中力を失っていた。3時間目に、ある児童が吐き気を訴えた。顔色も悪かった。(132)
- ・1日4時間は、あんまりにも大変で、子どももぐったりしていたとのこと。(133)
- ・国語Bの問題は、難しい内容であるので、練習をしないと実際出来ないよねといった話があつた。(134)
- ・多くの内容を1日で行なうので大変。(135)
- ・算数Bでは、レベルが高すぎて子どもたちが自身をなくしていた。(137)
- ・理科的な内容が国語の問題になっていたが、おそらく読み取る問題なのであろう。(141)
- ・あまりにも国語Bの問題が、学習指導要領にない高度な問題で解答できない子が多い。国語Aも時間不足で全部解けない。(142)
- ・バスケットボールに関しての問題があり、分かりづらかつたようだ。(143)
- ・特に気になるものはなかつた。() 146
- ・アンケート・・・「家の人」と問われて、児童擁護施設の子を思いました。「家の人」のとらえ方は難しい。両親そろってと考える、どちらか一方でもいいのかなど(食事)いろいろな仕事があり、時間(仕事)帯がある今日、家の人との食事はとりたくてもとれない人もいるのでは！(152)
- ・実施前の職員会議で全職員での共通理解の場の設定を要求した。結果として4月の第3週に文科省の「実施マニュアル」等を回覧した。(154)
- ・B問題は、日常子どもたちに教えている内容のどの部分と関連があるのか分からない。(164)

(中学校)

- ・問題をあまりよく見ていないのでわからない。(30)
- ・量が多い。B問題は難しい。一日でさせるのは過重だ。(5)
- ・学力の低い子には問題の意味を理解するのが難しい。(14)
- ・国語Bの文章で書く問題の指示の仕方(原稿用紙の使い方に従っての注がない)生徒の答案がまちまち。(22)
- ・国語の問題の中に「これが国語の問題？」と思われるようなものがあつたらしい。実際には私は目にしていない。(44)
- ・数学Bは手がつけれない生徒がいた。辛そうだった。(64)
- ・特に何も問題に上らなかつた。(73)

4 実施後の問題点

テスト後に担任や管理職から子どもたちに対して、問題となる言動はありませんでしたか。

(小学校)

- ・子どもたちに対しての発言はないが、担任と管理職の間では、クラスの平均が下がるなどの発言はあった。校長は、「自分はそんなことは気にしていないよ」と答えていました。(2)
- ・小規模校だが大変成績がよいことで、学校だよりなどに載せているが、今後よくない学年などもありうるのではと思うのですが。(52)
- ・今回のテストではないが基礎基本定着度調査で、特別支援学級の児童が受けたのに集計からはずすように言われた。(82)
- ・全員分の解答用紙を毎年全てコピーしている。(90)

(中学校)

- ・まず、ないと思う。(46)
- ・親に対し本校が低いことを公表（基礎基本定着度調査）(77)

5 結果の公表の問題

(1) あなたの学校は、前年度の結果の公表は、どのような形で行なわれましたか。

(小学校)

- ・親に本人の結果のみを知らせる。(2) (162)
- ・職員研修 保護者へもあった (PTA 総会?) 学級ごとの点数の公表(4)
- ・学校だより(8)(74)(78) (140)
- ・今年から夏休みに分析を(9)
- ・実施要綱に示されたとおり(10)
- ・職員に示した(15) (100)
- ・実施要綱どおり示された(22)(35)(36)(41)(42)(46)(51)(53)(56)(58)(62)(70)(71)(73)(85) (104) (110) (122) (124) (29) (136) (156) (169)
- ・PTA(6年)の資料に分析の結果等を入れて説明していた(23)
- ・特に大きく公表していない。(29)
- ・学校便りで「こういうところが良かった」「こういう点がもう少しだった」という公表(30) (149)
- ・学校だよりで公表(31)(33)(67)(171)
- ・校長が「学校だより」で学校全体のおおまかな傾向を知らせた。(32)
- ・資料を使って口頭で(34)
- ・南さつま市教委の公表の通り。学校だよりで(37)
- ・学校便りで公表。今年度の PTA 総会資料にも載せている。(38)
- ・学校説明みたいなのであった。(40)
- ・特に問題なく。全体の場合では示されなかった。(44)
- ・覚えていない(48) (145)
- ・公表もなかった。(49)(50)(66)(83) (105) (106) (142) (163)(165)

- ・学校だより等で平均のみふれてあり、職員で結果をどうこうすることもなかった。(52)
- ・学校だよりで数値は出さずに言葉で表現。「大体平均ぐらい」とか。(54)(77)
- ・把握していない。(55)(59)(63) (120)
- ・職員会及び PTA 総会場で。(60)
- ・担任に結果を渡されただけ、特に公表はない。(64)
- ・職員研修の資料として出された。(65) (111) (135)
- ・PTA の場で校長があいさつの中で話した。県・市との比較であった。数値は出していない。(75)
- ・学校ホームページに概要を掲載(76)
- ・簡単な傾向、結果報告を学校だよりで出した。(80)
- ・校内で発表、後は、市教委の指示通り(84)
- ・実施要綱どおり、問題等は渡さず(91)
- ・特になかった。校長は仕事をあまりしていない。教頭が転勤だったため出していない。(92)
- ・学年 PTA で説明があった。(95)
- ・学校だよりの 1 コーナーに記載(69)
- ・交渉にも応じ、要求したとおり文章表現での公表をした。(97)
- ・PTA での全体会で傾向が文章で出された。数値の提示はなかった。(99)
- ・町の校長会で話し合われた公表の仕方で行われた。(点数は出さずに町平均と比べて良いとかおおむね良いというように) (112)
- ・プリント配布、数値なし、結果・課題・改善ポイントを文章で (115)
- ・平均点の全国比を数値で示した。(116)
- ・問題はない。(119)
- ・学校だよりにグラフではなく文章でのせた。「平均より高い」という文章で。(127)
- ・保護者及び職員に対して、各教科ごとの平均得点率及び誤答が多かった問題内容、それに対する指導方針を紙面上で公表した。(128)
- ・地域の教育懇談会（代表者参加）で数または傾向のみの提示 (133)
- ・要項どおり。学校だより等を使って配布された。(134)
- ・個人＋職員 (137)
- ・学校だよりで全国を 100 としたときの本校の学力（数字）と、2 教科の課題と解決策、学習状況について公表した。(141)
- ・教職員向けに学力の傾向が示された。（プリント）親向けにはなし。(144)
- ・プリントに作成 (150)
- ・送られてきた個人の情報を、その保護者に渡したようだ。(153)
- ・「学校だより」で全国・県の平均と比較した。本校の点数を表示 (155)
- ・分からない、個人成績のみを渡している。(157)
- ・PTA 総会などで平均を報告、全国と県と比較して。(160)
- ・子どもの結果を配ったのみ(167)

(中学校)

- ・保護者に公表したかどうか定かでないが、職員に配布されたものは別紙の通り。実施要領の通りだったと思う。(30)
- ・表面的には要項どおり(3)
- ・学校だよりで文章表現のみ(4)(21)
- ・地域 PTA で学校わけだけしました。(5)
- ・公表はしていなかった(6)(69)
- ・実施要綱に示されたとおり(7)(9)(11)(18)(35)(36)(54)(55)(63)(76)(78)(80)(81)(83)
- ・教員に冊子を回覧した。(8)
- ・保護者に向けて本校の平均と市の平均を公表した。(14)
- ・学校だよりで学校と県の比較。文章も少し。(15)
- ・職員に示した後、A41 枚裏表で保護者に PTA 資料の一つとして公表(配布)した。(20)
- ・学校だよりで知らせる。(22)(24)(25)(53)(67)(82)
- ・県・町で発表されたもののみ。(27)
- ・プリント数枚にして職員に配布。(39)
- ・PTA 総会に「全国・県・本校」の棒グラフを 5 教科ごとに載せた。(42)
- ・公表という形はとっていない。(43)(44)(609)
- ・学校だより「～が良かった。～が悪かった。こんなところを力を入れて指導する」という表現があった。(47)
- ・教頭が結果を整理していて、職員が見たいときに見るかたち。(48)
- ・学校だよりで全国平均と比較し公表(57)
- ・職員間の研修に使用したが、あとは、特になし(58)
- ・把握していない(62)(75)
- ・校内で職員に示された。他はなかった。(64)(70)
- ・職員に配布プリント、学校便り(保護者用)(66)
- ・文書で結果のみ配布(71)
- ・教頭が結果を刷り増しして、一人一人机上に配布してあるだけ。(73)
- ・職員研修で職員のみ具体的な結果を公表・分析にあたった()
- ・外部への公表はなく、校内研修で公表し今後指導(85)

(2)あなたの学校は、本年度の公表についてどのようにするか確認していますか。

	項 目	小	中	計	%
ア	実施前に確認している。	9	5	14	5.4
イ	実施前に確認していない。	38	15	53	20.6
ウ	実施後に確認する。	12	3	15	5.8
エ	今のところ何も決めていない。	93	50	143	55.6
オ	地教委からの指示を待ってから行う予定	8	3	11	4.3
	無回答	12	9	21	8.2
	合計	172	85	257	

(小学校)

- ・職員研修の年間計画に組まれている。(4)
- ・何も示されていないので昨年と同じだと思っている。(22)
- ・職場協約交渉に近々行くので。その時確認する予定(35)
- ・実施要綱に示されたとおりの公表(42)
- ・例年通り(54)
- ・実施要領に示された通りの公表ということで確認しています。(55)
- ・少人数で公表すると個人が特定できるため、おそらく本年度も公表することはない。(66)
- ・前年度同様だと思います。(73)
- ・交渉に行ったが、基礎基本の公表の話になってしまい、後日交渉することになった。(82)
- ・言わないから、昨年並みなのかもしれない。(92)
- ・校長が代わって確認していない。(110)
- ・学校便りの文章、「上回っている。下回っている」の言葉で。(127)
- ・個人だけ+職員(137)
- ・学校としては、していない(148)
- ・分会交渉で実施前に確認している(164)

(中学校)

- ・交渉で確認したところでは、前年並みになるのではないかとのことだった。(30)
- ・昨年なみ
- ・実施前に確認していないし、実施後も確認していない。(こちらが聞くとなんらかの処置をするような気がするので)(43)
- ・昨年度は、点数の公開はしないということだったので今年も同様だと思うのですが確認はしていません。(44)
- ・教頭から「昨年、うちの学校では全国学テの分析しましたっけ?」と聞かれた。「今年はやりましょう」というニュアンスを感じたが、それが公表にどうつながるのか不明。(60)
- ・示された通りの公表(昨年度と同様にとのこと)ということで確認している。(76)
- ・地教委(市教委交渉で確認をとった)(80)

6 その他、

子どもたちの負担、担任の負担、保護者の声など「全国一斉学力調査」に関することで気づかれたことを書いてください。

自由記述＜小学校＞

以下は、カテゴリーに整理分類し、特徴的なものを一部掲載した。

(小学校)

① 子どもの豊かな学びの保障に関すること

- ・「どんな内容だった?」「できていなかったから、こんな指導が必要?」など、テスト内容

が、とても意識される。(56)

②プライバシーや情報管理に関すること

③実施上の問題点に関すること(担任の負担・時数等も含む)

- ・時数を教科でとり授業に余裕がない。(4)
- ・担任も不必要な労力を使い新学期の忙しい時期に、ますます多忙化した。担任として必要性を全く感じない。(15)
- ・特に担任に負担はないと思う。担任は当日子どもたちに実施させるのみ。管理職の方で教室への問題の配布及び回収全て行っている。(22)
- ・5年生の3学期に「基礎・基本」調査とCRTを行い(1月)、6年生1学期に「全国学力調査」を行っている。5～6年生にかけてのこの期間は、担任にとって負担は大きいと感じる。また、授業時数(授業を大切にと言っているにもかかわらず)としても無駄なような気がする。(23)
- ・国・算を個別指導している児童については、受けさせていない。(37)
- ・データ入力、採点が非常に面倒です。テストするだけでも時間がとられ、さらに、業務が増えます。データ入力、採点は当然勤務時間外です。(44)
- ・担任の言葉(未組織)授業時数が教科でカウントされるのは苦しい。なんとかできないか。(49)
- ・複式で昨年までA年度B年度ごとの教育課程編成実施なので、調査項目のチェックに時間が不足した模様(51)
- ・5年生の3学期からテストつづきで子どもたちもうんざりしている。(58)
- ・事前に実施要綱を読んだり問題をチェックしたりするなど事務処理事項が結構あるので負担だった。なければ、その分教材研究ができる。(62)
- ・担任としては、書類の厳重注意に気を使った。(70)
- ・実施学年の担任が、4月の多忙な時期に負担に感じている。(71)
- ・事前に、そして、実際と保護者や管理職から特に何も言われていないのにもかかわらず、実施にあたりピリピリとした雰囲気が強く感じられました。(72)
- ・授業時数の確保をしたい。(101)
- ・出席停止(インフルエンザ)で受けられなかった児童に受ける機会を設けた。指定された期日に欠席で受けられなかった児童の対処について、後日、報告するよう求められた。(112)
- ・担任の声として、時数的にも厳しいなか4時間も使ってする必要はない。(134)
- ・問題の予備枚数が、なぜあれ程たくさん来るのか。無駄!児童数15名なのに30名分届いた。こういうことなどを考えると委託業者は喜ぶでしょうね。(134)
- ・時数のとりかた、予備もないのに苦しい。(152)
- ・準備はマニュアル通りではなく、前日一斉に配られた。全職員が、この問題を見るべきである。5ヶ月もたってから結果を返されても意味がない。(保護者もあまり興味が

- なさそうなので、今のところ助かっているが・・・) (164)
- ・複式なので補強を組んだりして担任の負担も大きい。(165)
- ・管理職から練習プリントを渡されることで、点数を上げないといけないというプレッシャーを感じた。(担任談)

④ 問題（出題）に関すること

- ・6年担任は、年々内容がむずかしくなっているのではないかと話していた。そして、普段の学習内容と学テの内容があまりにかけ離れすぎていて（特にB問題）できなくて当たり前だと思うとのことだった。(35)
- ・それほど大きな負担はないと思いますが、問題の傾向が普段の授業やテストで扱うものとはだいぶ違うので、学力の高い子からも「難しかった」「できなかった」との声があがっていたので、少し似ている傾向の問題が学習の中にあってもよいのではないかと思ったりもしました。(55)
- ・テストを受ける子どもの様子から、国語では記述することが多く、時間不足の子どもが多かった。問題用紙と解答用紙が別々なので大変そうだった。(58)
- ・いつものテストでは見たことのないような問題だったので子どもは難しいと感じていたようだ。(6年生担任の聞きとり) (78)
- ・日常の指導要領、教育課程ではやっていない内容なので問題に不慣れである。(113)
- ・B問題はレベルが高く、子どもたちの学習意欲をなくしそうである。(137)
- ・何の力を問うているのか分からない。B問題は問題が多すぎ。半分ぐらいしかできていない子どもが多かった。
- ・子どもは益々勉強嫌いになった感じがする。(担任談)

⑤ 児童生徒の負担に関すること

- ・子どもたちがたいへんきつそうだった。(冊子になったテストに慣れていなくて量も多く大変そうだった。終わる頃には、きついという表情や声が出た)担任からすると、子どもたちがかわいそうだった。(1)
- ・午前中通してのテストで子どもたちが疲れていた。(4) (45) (46)
- ・テスト中寝てしまう児童がおり、起してもまた寝てしまうので、立たせたままテストをさせたらしい・・・。(13)
- ・子どもたちは、量が多くかなり疲労していた。(15)
- ・忙しい時期(家庭訪問・学期初め)に実施するのは、担任や児童に負担があると思う。(20)
- ・子どもの声「疲れた」「もういやだ」「終わらなかった」「難しかった」「ぜんぜんできなかった」
- ・1～4時間のぶっ通しなので、子どもが疲れている。いつものテストでは、見たこともないような問題だったので子どもは難しいと感じていたようだ。(31)
- ・子どもたち5年生の時の県の学力診断テスト、CRTに続いて負担 (42)
- ・本校のように複式学級の場合、5年生は自習(教頭がついたが)となってしまう。(46)

(47)

- ・子どもたちは午前中 4 時間も連続でパソコン室に詰められ、ハアーとため息をついていたという。(49)
- ・同じ週に知能検査もあり、子どもたちは「もう限界!」「頭がおかしくなった」と言っていた。この日、インフルエンザ等流行していて、担任が休まざるを得なかった時、「えっ、学力検査があるんですか、休むんですか」と言われた。子どもたちも終了後、「何のためにこんなテストやるんですか!」と不満をもらしていた。(50)
- ・テストの後の子どもたちの発した言葉が「つかれた〜」だった。午前中テスト漬けの子どもたちの素直な感想だと思う。精根尽き果てていた!こんな疲れさせて、10 月ごろに結果が出ても、何のこと?と記憶の片隅にでもあるのだろうか?やるからには、子どもたちにもっと見返りのあるものを!(52)
- ・6 年生は知能検査に NRT、そしてねこのテストと 4 月に 3 回も大きなテストがある。慌しいこの 4 月に本当に必要なのかと思う。(64)
- ・量が多いので、子どもたちが大変。後半は疲れから、子どもたちの本当の実力が発揮されていないように感じる。(67)
- ・子どもの負担は大きい。(問題を見て、へこんでいた子が多かった)(91)
- ・テストばかりで子どもも大変だ。南日本新聞が問題点を的確に把握していた。(97)
- ・午後の授業にも支障が出るほど子どもたちは疲れきっている。また、新 6 年は昨年度から短い期間中に基礎基本定着度調査、CRT、学テとテストに圧迫されている。校長会で改善するようと言うことを校長に要求しているが、いまだに変更なしの状態である。学力を数値化し世論をあおるようなことをしているが、学校内での環境改善は全くなされていない。(102)
- ・とにかく、子どもたちにとっては、大きな負担だった。ほとんどできていなかった。それでも、まじめにとりくむ姿を見て、かわいそうに思った。(132)
- ・担任としては実施するだけと割り切って行った。子どもたちからは、「二日に分けて実施してほしい」という声があった。(146)
- ・5・6 年複式学級なので、テストは教頭に全て任せ、担任は 5 年生の授業を進めた。1 月から 4 月にかけての 4 ヶ月で、学力調査づけ状態(基礎基本定着度調査 1 月→CRT 学力テスト 2 月→NRT 学力テスト 4 月→全国一斉学テ 4 月)(153)
- ・できる子とできない子の差が、さらに広がる感じがする。

⑥ 公表に関すること

- ・昨年度成績を保護者に配布する際、「平均よりできていますね」「あら、はずかしいできていませんね・・・」というぐらいの対応で、特に気にしているという感じはなかった。(22)
- ・結果を公表することが善で、しないのが悪のような世論誘導がみられ、不必要な競争を煽り、子どもたちをますます追い込む状況を作っているのではないか。これではかれる学力がどのようなものか、この結果をどのように生かすのか、一般に対するアナウンスがない(66)
- ・結果を本人・保護者へ渡すのが、11 月ごろになり 2 年前は、7 月あたりに保護者から「結

果はまだなんですか？」と催促がありました。(73)

⑦ 今後への不安

⑧ 弊害・意見

- ・年度始めの忙しい時期にあって、とても迷惑。(14)
- ・子どもたちの力になっているのかははっきりしない。結果がうまく反映されず、点数のみで評価されると全く意味がない。(17)
- ・事前に練習問題をさせてもいないし、問題も見えていない。その後の活用にも使えない。一日実施が遅れた学校が報道等でバッシングされたことがとてもこわい。はっきり言っていたことではない。(29)
- ・他の学校のことだが、似たような問題をさせていたらしい（本校に勤務している職員の子どもが6年生でそう言っていた。）(30)
- ・50～60億円の経費をかけて該当全児童に毎年しなければならないのか。教育産業の新たな市場づくりに役立っているだけ。「学力」は日常的な実践の中で把握できるはず。(37)
- ・忙しい中で行われ、自分自身がよく考えられていなかった。「欠席した児童は、無理にしないでよい」と言っていた校長だったが、校長会から帰ってくるなり、強い口調で「絶対やるべきだ。平均点はどういうことではないが、個別の学習時状況を把握しなければならない。授業を受けられなくてもやらせなさい。どうせ、病気でも学校を休んでいるのだから。」と発言。担任としては、休んだのだからこそ、授業は大切にしたいと考える。結局、昼休み、体育見学时。学活時間に行った。(38)
- ・過去問をさせている教科とさせていない教科では、点数には差があった。それで、自己申告面談の時に、「点数に反映させるように指導してほしい。」と言われた。カチンときたので、過去問をさせていないし
- ・させるのはおかしいと抗議した。(40)
- ・管理職から研修係へ要請があり。問題の分析が研修で行われた。解等の分析ではなく「問題」の分析。問題をよく知って、いい点をとる対策をしたいのだろう。去年まで事務所にいた校長である。(43)
- ・C R Tなどで本校の対策等は話しあいます。本調査は対策に役立てていません。(44)
- ・今年度、初めて全国一斉学力調査に立ち会ったが、聞くところによると子どもたちの答案用紙は戻ってこないとのこと。抽象的な言葉や数字をいくら並べられても、実際の記述用紙がなければ次に生かすことは難しいだろう。また、いつ戻ってくるか把握していないが、時間がたてば、子どもたちも答えた内容を忘れてしまっているのではないだろうか。現場の教師の立場からすると子どもたちの学力向上に生かせない調査には、意義を見出せない。今回、6年生担任だったので問題を少しは見る機会があったが、他の職員は内容を知らないのではないか。(現にこれまでの私がそうであった)しなさいと言われたから、とりあえずこれまでしている。これが現在の状況ではないか。お金を使うべきところは、他にもいくらでもあるだろう。(48)

- ・担任の言葉（未組織）はたして、毎年する必要があるのかなと思う。1年おきでもいいんじゃないか。それも全校じゃなくて抽出にして。(49)
- ・南九州市の件など、どの学校でも起こりうる。4時間もかけて、データをとるだけで子どもに還元することは、はじめからできないとわかっている。本当にもっと役立つことに予算を使ってほしい。(52)
- ・一斉にする必要はない。もし、するであれば抽出校のみの実施でよい。学力・時間・お金のムダ。(53)
- ・毎年やる必要はないのではないか。子どもたちが大変(54)
- ・財源不足、教職員の給与減額等の中で、多額の予算を確保し、毎年実施する必要性を全く感じない。(66)
- ・本県は5年生1月に基礎基本調査を実施、2月にはC R T、そして、わずか2ヶ月後の4月に全国学力調査と、立て続けにテスト実施となり、子どもへの負担が大きいことは確実だと思います。ゆっくり定着を図ることもできず、様々な調査に追われているのが現場の実情です。また、調査を行えば、それに伴い様々な報告物に追われ事務処理が担任への負担を大きくしているとも思います。精選してほしいと思います。(72)
- ・実施される学年の担当しか目にすることがなく、全体の問題としての意識がなくなっている。(82)
- ・1日に集中してするのは、子どもには負担。大人でも大変。国語・算数は日をずらして実施してほしい。(87)
- ・この検査のおかげで昨年よりN R Tの代金が保護者負担になっている。霧島市全体(90)
- ・人数が少ないのでテストの結果は平均がとれるようなものではない。だが、成績がいい子がいると平均は上回り、ちょっと悪い子がいると下回るのがはっきりしている。担任もそれを気にしていないのでねいろんな問題をやらせたりとかはしていないが、気にする担任になった時には、どうなるか心配。(98)
- ・このような調査をするお金があるなら、増えた時数分教員を増やすべき。調査だからとある程度割り切って授業を進めているが4月の単元に集中できず、いつまでも5年生までの復習をしてしまった……。 (99)
- ・テストをしても公表の時期が遅く、指導に生かせない。「学力調査に対応できるよう授業を工夫しないといけない」など、テストの結果を上げることが授業の目的になってしまっているようなことを言う教師がいることも気になる。(104)
- ・5年1月に行われる基礎基本定着度調査もあるので、どちらか止めてもいいのではないかな。新年度の慌しいなか、する必要があるか疑問に思う。(106)
- ・「指導に生かす」ためのテストらしいが、全く生かされていない。結果の分析や考察をまとめはするが、「まとめないといけないだろうから」まとめているだけであって、その後、積極的に活用できるものではない。現在のやり方で得られる程度のデータは、テストを抽出校だけにさせても得られる。全国一斉にやるのは明らかに無駄。(116)
- ・人数によって平均が変わってくる。(118)
- ・毎年実施する必要があるのか疑問である。(124)
- ・毎年実施することに疑問を感じる。(125)

- ・熊本の菊池の教育事務所の「全国大会」「学校の誇り」発言。職員を増加させる費用に回してほしい。(129)
- ・税金の無駄遣いである。(137)
- ・業者テストはダメだとしながら、全国調査はまさに業者テストといって過言ではない。こんな無駄づかいの調査は、即刻中止すべきである。(142)
- ・難しい問題をさせて結果点数だけみて、学力が低い＝指導力不足となり、管理職によっては、担任へのプレッシャーをかけてくる。(142)
- ・やったところで結果をどう生かすかが不明瞭。毎年やる意味がない。スパンが短すぎる。(144)
- ・全国共通問題を解くことで学力を知り、それを指導に生かすということは理解できなくもないが、時数確保の厳しい中で、予備時数を使って行う、事前に指導するというのは、現状にそぐわない気がする。事前指導はしなくてよいし、して上がっても実態ではない気がする。すでに教委や管理職の競争意識があるのではないか。(148)
- ・先日、新任校長会での報告、数年前、最下位の秋田県が先生たちががんばって、昨年トップになった。先生たちが、頑張らないと・・・というニュアンスの報告をした。(151)
- ・することに意義がない。63億円は教員増に回したら。政策的なものと思われるので、反対の闘争を全国的にくむべきである。(155)
- ・全国一斉学力調査が、どのように何の形で使われるのか教委と管理職からでも職員に伝え、全職員の共通理解のもと行われるべきだと思う
- ・5年生から6年生にかけて鹿児島では、テストが3回実施されている。児童にとっても担任にとっても負担は大きく、「5年生の担任にはなりたくない」という話も聞く。学力テストの結果が市町村で公表され、また、学校別でも公表されており、教育委員会も必死で校長会等で、指導があるところもあるようだ。競争を煽り教育活動が萎縮していくようで、百害あって何も得ることはない。すぐに止めるべきだと思います。分会でも話をしています。
- ・担任の責任にされてしまいがち。

⑨ 保護者からの意見

- ・(小6の子どもの保護者として)冬休み前(小5の頃)基礎基本定着度調査と学力テストがあるから冬休みを使って復習しておくように、また、こんな問題ができていないよと問題例のプリントが校長名で出された。(13)
- ・保護者からは、6年生は宿題が多いというのは、耳にしたことがある。(19)
- ・1月に基礎基本があり、またあるんですか、どちらかでもいいのでは。
- ・(保護者の立場で)わが子が6年生。テストのあった日「つかれた」と言って帰ってきた。「何もわからなかった」と言うので、私は黙ってひとり青ざめていた。(107)
- ・保護者から「全国平均を教えてください」という声があがったそう。(111)
- ・「うちの子たちはできが悪いんですものね。」中学生の親が口にした。(127)
- ・保護者の中にも「なくてもいいのにね」という意見が多い。(132)
- ・保護者より5年生からテストが続き、大変である。精選すべきである。(137)

(中学校)

① 子どもの豊かな学びの保障に関すること

② プライバシーや情報管理に関すること

③ 実施上の問題点に関すること(担任の負担・時数等も含む)

- ・結果が届く頃は、子どもは何をしたか覚えていないので、受けた子どもには何の役にも立っていないと思う。(11)
- ・授業時数でカウントしていることに怒りを覚える。授業がもったいない。市教委からレポートを提出を求められたが、反対し、教頭が作成した。その後、しつこい。(25)
- ・授業時数の確保に迫られている中で必要ないのでは。(33)
- ・(テスト実施)=(授業時数の減)で、あることがわかっているのか。テストをすればするほど授業時数は減っていく。「授業時数を確保しろ」「短縮校時を組むな」という割りには、テストは増えていく。数ヵ月後に結果がわかっても、なかなか生かせない。授業にすぐに生かせないテストって何?(45)
- ・授業時数確保のため調査はない方がよい。(66)
- ・授業時数のことをやかましく言うのに、全国学テ調査に1日5時間もかける。矛盾としか言いようがない。(64)

④ 問題(出題)に関すること

- ・子どもたちは、「意外と易しかった」という声が多かった。(A問題)(13)
- ・問題の難易度に違いがあるので、年次の変化を見るには不適切ではないか。(42)

⑤ 児童生徒の負担に関すること

- ・基礎基本定着度調査、C R T、全国学テと短い期間にテストが立てこんでいる3年生は、6月に入るとすぐ実力テストそして、下旬には期末テストも予定されており「テストテストでイヤ気がさす、やる気がなくなる」とこぼしている。(1)
- ・5限まで続けてのテストや調査に生徒はうんざりの声をあげていた。「どうせ、実態調査をするだけなんだよね」という生徒もいた。体調を崩して欠席した生徒がいた。「あの子が休んだら平均点が下がるのに・・・」という冗談とも本音ともわからないような声も職員室であった。(6)
 - ・欠席した生徒に後日、調査を受けさせることについて必要ないという職員と必要だという管理職との間に、意見の相違があった。全体データに入らないが個票が返されるので、受けさせるように指導された。生徒に負担がかかりすぎないように配慮するのが難しかった。(15)
- ・基礎基本定着度調査、標準学力検査、知能検査、全国一斉学力調査と3学期から4月にかけて検査が多く負担が大きいのではないか。(18)
- ・標準学力テストが終わってすぐに3年生での全国一斉学力テスト、生徒は、“なぜ、3

年生だけ？”と不満を言っていた。(19)

- ・50億もの予算をかけて、それでもなくとも負担が大きい中学3年生のこの時期に実施するのは、問題が大きすぎる。
- ・こどもたちは疲れたようだった。最後の質問紙のときは、「まだあるのお」など子どもたちは、うんざりした声をあげていた。(34)
- ・標準学力検査、また、前年度の基礎基本定着度調査といい3～4月の間に、いくつもの試験があり生徒の中には、あきてきている状態がある。(37)
- ・一日4時間連続テストはきつい。後半は子どもたちも疲れて、考える気力を失っている子どももいた。(41)
- ・国語が2時間、数学が2時間、合計4時間。1時間目から4時間目まで国・国、数・数とぶっつづきのテストで、子どもたちは相当きつそうでした。(48)
- ・年度初めで標準学力検査やPAS検査、知能検査と続き、検査やテストに疲れていると感じた。また、実際の授業が進まない。(84)
- ・希望を抱き入学、進級したばかりの中に標準学力検査、全国一斉学力調査、連休後の実力テストと続き、生徒も教師も多忙で息つく暇もない。(78)
- ・4月初め標準学力検査、知能検査もあり子どもたちは、検査漬けで大変だ。そういった問題点を職場で議論することすらない。管理職からの提案でおしまいといった感があるので辛うじて分会員が子どもたちの負担という立場から問題を投げかけはした。(64)
- ・学年初めに子どもたちの負担が大きい。「テストが毎日ある」といっています。(59)

⑥ 公表に関すること

- ・結果について、特にこれといった反応や対策、大きな声といったものは上がってきていない。(71)

⑦ 今後への不安

⑧ 弊害・意見

- ・本校の場合、特に、事前・事後何もしていないので、何らかの負担があったということではないが、傾向を知るだけなら、悉皆調査の必要はなく抽出調査で十分だと思う。今年は、インフルエンザで学校を休んでいる生徒が多い日に実施されたので、全体の割程度がテストを受けなかった。(30)
- ・学力向上は、学校、教師の責任という言葉で教職員や生徒を追い込んでいる。生徒一人一人に目を向けた学力向上ではなく、学校・校長の体面のための学力向上対策だということを強く感じている。未組織の中にも感じている人はいるようだが。みんな何を求めて教師になったのだろうと思う。(3)
- ・多額の予算を使う割には、学力調査の効果は少ないと思うので、福祉や失業対策の方にもっと予算を使うべきだと思います。(12)
- ・「4月の忙しい時期に、落ち着かない状況で実施するのに、意味があるのか」というのが職場で話題になった。(13)
- ・国の税金をかなり使って行っているが、果たしてその効果がどれだけあるか疑問である。

(14)

- ・自分は数学担当だが、ここ数年、テスト監督をしたこともなく、テスト問題も見えていません。(見せてもらえないし見る気もない。) お金のムダでしかない。ムダな冊子もあります。さわられてもない新品の冊子「全国一斉・・・の分析(?)」が、この2年分で10冊以上、職員室の本棚にならんでいます。(19)

＊生徒の発言“税金の無駄遣いですよ”問題用紙の使い方、やたらと多い空白・白紙を見て・・・“資源の無駄遣いですよ”それでも、テストが始まると、一生懸命答案に向かう姿を見ていると、本当に毎年こんなことを生徒に強いる責任を痛感させられる。基礎基本・標準学力検査(本来ならば学校で判断できるはずのものだが)と検査づけ、それに対する分析の強要(特に鹿屋市)と、ますます現場の形式化・マニュアル化は、進んでいくばかりだと。そして、それに、この学力検査も手を貸していると思う。抵抗するより、その場をしのいでいくという批判力を失っていく一方だと思う。(22)

- ・用紙を使いすぎ(一問につき1枚)(27)

- ・多額の血税と時間が使われる割に効果が薄い。(39)

・習熟度別少人数による指導が、点数がよいというわかりきったことを成果にあげている。(だから少人数学級をと要求してきた)その少人数学級の編成の仕方が問題になるけれど。

(42)

- ・点数を競争させると学力は伸びるというけれど、そうはなっていない。点数の低いところこそ、予算をつけて人的配置もして、伸ばしてほしいが、そうはなっていない。行政は、差をはっきり打ち出している。(42)

- ・2週間前に実施されているNRTと、この「全国一斉学力調査」の目的については、かなりの重なる部分があるのではないかと。費用のムダも発生しているのではないかと。(45)

＊本校の特殊性から本人の発達段階に応じた授業を展開している。特に数学・英語では、つまずきをとりはらうために基本を重視し、本人のペースに合わせて進めているつもりだ。その中で、実施するとしても履修していない内容に関して出題がなされるとどうなるのか。まだ、初めて実施したばかりなので、何ともいえない状況である。また、施設内分校ということで、保護者向けのアンケートなど学園の日課に合わせて回答を行った。そのため現時点での調査たりえるのか疑問である。(46)

- ・学級開きをして落ち着いた中で学級経営、生徒理解、不登校生徒の対応に当たりたいが、なかなか時間を生み出すことが難しい。(テストの処理に追われている)また、調査終了後、勤務時間内での処理ができず、かなりの超過勤務であった。(78)

- ・実施の意味がない。子どもたちの個別の評価は相対評価から絶対評価へ転換しているにも関わらず、大枠の外枠が相対評価しているところは、全く矛盾していると考える。教師である以上、結果は当然気になるが、そういう風潮が深く入り込んで来そうで、教師の視野がますます狭くなるのではないかと危惧している。なくすべきである。(76)

- ・特に必要なテストであるとは思えない。費用面も莫大だと思われるが、経費の無駄づかいだと思います。(75)

- ・忙しい年度始めのこの時期にわざわざする必要性がわからない。(73)

- ・税金の無駄遣いとは思えない。代わりは校内でいくらでもできる。(69)

- ・県の基礎基本学力テスト、NRT 等、負担が大きいし時間的にもとられる時間が大きい。家庭訪問中でバタバタした。インフルエンザで欠席が 10 人ぐらいいて、家庭訪問中にさせていたが、そこまでする必要があるのか?(67)
- ・3 回目にもなるいろいろな問題点も指摘されています。結局、その年の小 5・中 3 の実情しかわからないので追跡もできず、自治体間(学校間)の点数比較・序列化しか生まないでしょう。十分データもそろったことでしょうかから廃止(それができないようなら数年に 1 度)すべきでしょうね。コストパフォーマンスが悪すぎます。(60)
- ・やはり抽出でよいと思う。一斉に全校がとりくむ必要性がわからない。(57)
- ・1 月の基礎基本定着度調査、4 月の NRT、全国一斉学力調査と調査が続き何のための調査なのかよく分からない。生徒の実態を把握するのであれば、定期テストや授業の様子等で十分だ。廃止してほしい。(56)
- ・活用するためのデータにしても、今の財政状況を考えると回数を減らすなどして現場職員の工夫で学力向上を図る。(55)
- ・結果が出るのが遅く指導に生かせない。全国でやる意味が分からない。サンプル調査でいいのではないか。(53)
- ・多くの先生たちがおそらく 4 月の忙しさに追われ、学力調査についてはあまり重要視していないように感じる。(50)
- ・目的がよくわからない。(生徒も分かっていない。納得できていない)準備のため遅くまで残ってしまう。強制された訳ではないが、係の先生や教頭だけでやると負担が大きいので、手伝ってしまう。職員が信頼されていない(前日夕方まで届かない)(49)

⑨ 保護者からの意見

以上、アンケート調査に回答していただいた全ての記述について、掲載してあります。
集計後の分析及び考察については、鹿教組夏季学習資料に掲載します。